

「平成28年度第1回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 平成28年6月15日（水）13時30分から

○場 所 豊橋市上下水道局 大会議室

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 0名

○事務局 豊橋市都市計画部都市交通課
前田課長、浅岡主査、文野主査、中野、大和田、平田、太田

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

◆豊橋市地域公共交通活性化推進協議会規約

【資料1】役員の選任について

【資料2】平成27年度事業経過報告及び収入支出決算（案）について

【資料3】「地域生活」バス・タクシー運行事業（前芝地区）の事業計画の変更（案）について

【資料4】平成29年度 豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

【資料4-1】石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

【資料4-2】表浜地域公共交通推進委員会の取組について

【資料4-3】しおかぜバス運営協議会の取組について

【資料4-4】かわきたバス運営委員会の取組について

【資料5】「夏休み小学生50円バス」の実施に伴う運賃の変更について

【資料6】豊橋市地域公共交通基本条例（仮称）について

【資料7】豊橋市地域公共交通活性化方策の総括について

【資料8】豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成28年度の取組について

【資料9】豊橋のりものフォトコンテストの募集について

【資料10】東山バス運営協議会の取組について

【参考資料】

議 事

1. 開会

- ・前会長が平成28年3月31日に退任されたことから会長職が不在となっているため、会長の代理として副会長が議長を務めた。
- ・本日の議事録署名者として委員2名が副会長より指名された。
- ・今回の議事の内容あるいは進行過程の中で、非公開事項に関することがあるかどうかの確認がされた。(非公開事項に関する事項はなし)

2. 協議事項

(1) 役員の選任について

- ・事務局より、役員の選任について説明が行われた。
- (委員)
- ・会長の選任について協議を行うが何か意見はあるか。
- (委員)
- ・会長は、専門的な見地から意見をいただいている、藤田副会長にお願いしてはどうか。
- ・議長から会長の選任について諮ったところ、全会一致で承認された。また、副会長及び監事については会長より指名された。

(2) 平成27年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について

- ・事務局より、平成27年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について、資料2に基づき説明が行われた。
- ・監事より監査結果の報告が行われた。
- (委員)
- ・平成27年度豊橋市地域公共交通活性化推進協議会の収入支出決算については、5月24日に監査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めたので、ここに報告する。

(質疑等)

- ・なし
- ・議長から協議事項2について諮ったところ、全会一致で承認された。

(3) 「地域生活」バス・タクシー運行事業(前芝地区)の事業計画の変更(案)について

・事務局より、「地域生活」バス・タクシー運行事業（前芝地区）の事業計画の変更（案）について資料3に基づき説明が行われた。

（質疑等）

（委員）

運行経路変更に伴う運行時間の短縮はあるか。

（事務局）

運行ダイヤの変更は行わないので、時間の短縮はない。

・議長から協議事項3について諮ったところ、全会一致で承認された。

（４）平成２９年度 豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）の策定について

・事務局より、平成２９年度 豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）の策定について、資料4に基づき説明が行われた。

・オブザーバーより、これまでの地域運営団体の取り組みについて【資料４－１】に基づき説明が行われた。

（オブザーバー）

・平成２７年度の取り組みについて説明する。

・「柿の里バス」支援会員制度を設けている。沿線校区にバスの実情を説明して、「柿の里バス」への支援をお願いしている。一口１，０００円で協力してもらっており、昨年度は１５３口の支援をいただいた。

・推進委員会を計１０回開催した。

・イベントの実施として、「夏休み小中学生無料キャンペーン」を行った。期間中に利用した小中学生と同伴者１名は無料として、中学生０人・小学生２７人・同伴者７人の利用があった。

・「柿の里バス５周年ありがとうキャンペーン」として１乗車ごとにカードを１枚差し上げて、カードを８枚集めた方に景品として豊橋市指定ごみ袋をプレゼントした。景品交換数は１４９口。

・「柿の里バスお帰りきっぷ」として平成２８年１月４日から３月３１日に柿の里バス沿線にある対象施設を訪れた方で帰りに「柿の里バス」で帰る旨を申告した方に「柿の里バス回数券」を配布した。回数券配布枚数は１７２枚。

・「柿の里バスカタクリバスツアー」として私たち委員がガイドを務めてカタクリなどの花観察ツアーを実施した。代金は柿の里バス運賃のみで参加者数は４１名だった。

・「柿の里バスニュース」を発行しており、２７年度は１１回発行で通算５１号を発行した。

現在は55号を作成している。

- ・「柿の里バス」パンフレットの発行として「柿の里バス」の運行ダイヤ・運行経路図・運賃などを掲載したパンフレットを作成した。平成27年10月に沿線校区に配布した。

- ・豊鉄バス・柿の里バス合同パンフレットの発行として、豊鉄バス(株)と協力し沿線校区にバスの乗り方・運行ダイヤ・乗換案内等を記載したパンフレットを作成した。平成28年3月に沿線校区に各戸配布した。

- ・平成28年度の取り組みについて説明する。

- ・支援会員制度の募集に努めていきたい。平成28年度5月現在では41口の支援があった。

- ・地域住民からの要望を的確に把握し、それを踏まえて10月に運行内容の変更を検討している。

- ・「夏休み小学生50円バス」実施期間中に、柿の里バスを利用した小学生と同伴者1名は無料とする取組と、昨年度同様にカタクリバスツアーの実施を検討している。

- ・それぞれの時期に応じたお出かけプランや利用促進イベントの告知など、柿の里バスに関する情報を掲載した柿の里バスニュースの作成・配布を通じて更なる利用促進を図ることを検討している。

- ・オブザーバーより、これまでの地域運営団体の取り組みについて【資料4-2】に基づき説明が行われた。

(オブザーバー)

- ・平成27年度の取り組みについて説明する。

- ・平成27年4月1日に運行内容の変更について、始発ののりばを午前10時以降に出発する便は、当日2時間前まで予約が可能とした。また小沢二川系統の校区外ののりばを細谷二川系統ののりばと統一した。

- ・「愛のりくん」通信の発行を、節目に配布している。イベント等の周知や運行内容の変更、利用者の声などを掲載し全戸配布している。またポスターを作成し公共施設等に掲示した。

- ・自治会、老人クラブ等各種会議を活用し、利用状況報告と利用促進を依頼した。

- ・高齢者世帯を中心とした個別訪問の試行的な実施として、小沢校区において昨年は非常に利用が低迷していたので、小沢校区民生委員の皆さんの協力により、民生委員業務活動時に利用可能性のある高齢者へ利用推奨をお願いした。その結果利用者が増加し、活動の効果が確認できたため、細谷校区・高豊校区の民生委員の皆さんへも取組みを依頼している。

- ・平成27年度の実施結果として、平成25年10月から右肩上がりに増加傾向にある。平成29年度以降の利用目標達成に向けていろいろな利用促進策を考えていきたい。

- ・平成28年度の取り組みについて説明する。

- ・5月1日に運行内容を変更しており、ミーティングポイントの新設・移設をした。

- ・平成29年1月を実施目標に運行内容の変更を検討するため、平成28年4月中旬に実施した75歳以上を対象としたアンケート結果を踏まえた運行内容の見直しをしている。

- ・「愛のりくん通信」の発行として、年間４回程度の発行を予定している。
- ・利用促進方法の検討として、まだまだ利用が見込めると考えているので色々な団体と協力して利用促進に努めていきたいと考えている。

- ・オブザーバーより、これまでの地域運営団体の取り組みについて【資料４－３】に基づき説明が行われた。

（オブザーバー）

- ・平成２７年度の取り組みについて説明する。
- ・しおかぜバス利用者に対しアンケート調査を実施したことで、利用者の考えと運営側とのギャップを感じた。特に通勤・通学等の獲得ができていないと認識した。
- ・実施したアンケート結果からダイヤの改正を行った。具体的には、第１便を３０分程度繰り上げ、午後の上り便を１便増発、第１２便を３０分繰り下げた。第１便の乗客数は減少してしまったが、第３便は増加となった。改善点としては、ダイヤの利便性を強調し、ダイヤ改正の周知を徹底することで第１便・第３便の利用者が増えると考えている。
- ・利用促進チラシとして、豊橋市民病院への乗り換え案内と通勤・通学者向けのチラシを作成した。通学に関しては効果が認められたが、豊橋市民病院については効果が把握できていないので、通院している人を把握してパンフレット等を配布することを考えている。
- ・平成２７年度に実施したイベントを２回実施した。一つ目は、利用者２万人達成日の予想あてクイズとして９月１６日～９月３０日に募集をした。応募者２６名中、的中者は１名だった。二つ目は夏休み小学生５０円バスを実施したが２０名の利用しかなかった。原因としては周知不足が考えられる。
- ・平成２７年度の総括として、平成２７年度地域内フィーダー系統確保維持計画における豊橋市前芝地区の目標は年間利用者数 9,600 人とし、年間利用者数 9,750 人と目標には達成できたが、年間 10,000 人を目指すにはさらに一段の努力が必要と考える。
- ・予算の少ない中、当校区としてどのような活動、促進策を実施していくのかをメンバーの知恵を絞ridす必要が早急に求められている。あくまでも利用するお客様が主役であり、どんなことを望んでいるかをメンバー全員で検討しなければならない。弱者にとって、また健常者にとっても安全・安心な公共交通機関でありたいと考えている。
- ・平成２８年度の取り組みについて説明する。
- ・アンケート調査の徹底することで、利用者及び地域住民がどんなことを望んでいるかを把握する。
- ・夏休み小学生５０円バスの実施に伴い、おじいちゃん、おばあちゃんと乗車した子供を対象にジュースを配布する。小学生の利用者数を目標５０名とする。
- ・しおかぜバスニュースの発行として、アンケート調査結果の発表や路線内の病院・有名な飲食店や場所などを掲載する。
- ・パンフレットの作成として、前芝・津田校区に 3,500 枚／１回程度で３回配布する。

- ・あらゆる機会を捉え、しおかぜバスのPRを実施する。
- ・老人クラブや自治会とのコラボレーションをしていく。

・オブザーバーより、これまでの地域運営団体の取り組みについて【資料4-4】に基づき説明が行われた。

（オブザーバー）

- ・平成27年度取組について説明する
- ・かわきたバス運営委員会を4月13日設立し、意思決定の場、目的意識共有の場、活動の実施主体として位置づけ、ほぼ月1回ペースで開催した。
- ・バスの愛称及びラインカラーの決定について、バスの愛称は公募して「スマイル号」に決定した。ラインカラーについては、明るく目立つ色の緋色（スカーレット）を採用した。
- ・運行経路、バス停、運行ダイヤ、運賃、支払方法等を記載したパンフレットを沿線校区全戸に配布した。
- ・出発式を豊橋魚市場で開催し、来賓、招待、一般参加者で多数集まった。また、北中生徒による和太鼓の演奏を実施し、盛り上がりを見せた。併せて回数券の販売も行った。
- ・モデルコースの紹介やバスの乗車方法などを掲載したチラシを下地津田線と大村線に分けて、全戸配布した。
- ・利用者数の現状報告や利用人数などを掲載した「スマイル号通信」を月1回程度で発行した。
- ・平成28年度の主な取組について説明する。
- ・地域団体等における広報活動として、自治会、老人クラブ等に出向いて、運行内容や乗り方を説明し、利用を促す。
- ・沿線施設を活用した利用促進活動として、魚市場、極楽湯、瓜郷遺跡、一期家一笑、牛川の渡し等の活用を検討している。
- ・スマイル号通信を現在は4号まで発行しているが、5号を作成中。
- ・利用実態調査の実施をして、利用者の現状把握とともに、乗車しない人が多い理由や問題点を探る。
- ・「夏休み小学生50円バス」の実施に合わせて、かわきたバス運営協議会の負担により、小学生無料化を考えている。
- ・大村地区のバス停が少ないので増設を考えている。可能であればこども未来館前に設置をしたい。
- ・堤防を走るルートでは利用者が見込めないことが分かったので、より利用が見込まれる運行経路への変更を検討する。

（質疑等）

（委員）

・前芝地区は病院に行く人が少ないということだったが、健康な人が多いということか。

（オブザーバー）

・荒木西バス停で乗り換えて豊橋市民病院に行くので、荒木西で降りた人が豊橋市民病院に行ったかどうか追求ができない。

（委員）

・柿の里バスについて、カタクリバスツアーが好評だったということだったが、しょうぶ園へのPRはしているか。

（オブザーバー）

・柿の里バスニュースでも取り上げているが、豊鉄バスの臨時バスの運行があるので競合しないように気を付けてPRしている。利用状況については分からないが、豊橋市で把握をしているか。

（事務局）

・現在は途中段階なので、現時点では把握をしていない。分かり次第地域に報告する。

（オブザーバー）

・沿線校区外や市外からの利用者を把握することはできるか。

（オブザーバー）

・一例であるが、通信やチラシは地域の中でしか配布されていないが、市のHPを見た人が伊勢市から利用しに来たと聞いたので、今後も市のHPを利用させていただきたい。

（事務局）

・コミュニティバスの運行内容についてはHPで掲載すると共に、地域の方がキャンペーンなどを実施する場合についてはその旨を掲載している。引き続き地域の利用促進策についても市のHPで可能な範囲でPRしていきたい。

・議長から協議事項4について諮ったところ、全会一致で承認された。

（５）「夏休み小学生５０円バス」の実施に伴う運賃の変更について

・事務局より、「夏休み小学生５０円バス」の実施に伴う運賃の変更について、資料５に基づき説明が行われた。

（質疑等）

（委員）

・今年は海フェスタ東三河が開催されるので、これを上手く利用して利用促進に努めていただきたいと思います。会場までは豊橋駅西口から無料のシャトルバスが出る予定であり、豊橋駅まで５０円で行けることを早めにPRをして欲しい。

・議長から協議事項５について諮ったところ、全会一致で承認された。

(6) 豊橋市地域公共交通基本条例（仮称）について

・事務局より、豊橋市地域公共交通基本条例（仮称）について、資料6に基づき説明が行われた。

（質疑等）

（委員）

・実際に条例を制定された後に何らかの取組を実施する予定があれば教えてほしい。

（事務局）

・昨年度末に策定した豊橋市都市交通計画2016－2025の中で公共交通の基本計画と5年ごとの具体的な交通戦略を定めているが、この中で交通手段を賢く使い分ける意識変革ということで、条例の制定もきっかけ作りの一つとして使っていくことを定めている。交通計画に基づいて今後も実践していきたい。

（委員）

・集約型都市構造を目指すための取り組みはあるか。

（委員）

・4年前に都市計画マスタープランの中ですでに方向性を打ち出しており、国の方からも立地適正化計画を策定していく方向で考えている。立地適正化計画の中にも、都市拠点や地域拠点を設定をするとともに、公共交通の基幹となる幹線軸の整備とセットで取組むという方向性を出し、都市機能の集約と都市交通計画が両輪となり、取組を進めていくなかで地域の拠点をどう作っていくかの計画を策定しようとしているところであり、これらの取組により、集約的な都市構造を実現していく方向で対応していきたい。

・議長から協議事項6について諮ったところ、全会一致で承認された。

3. 報告事項

(1) 豊橋市地域公共交通活性化方策の総括について

・事務局より、豊橋市地域公共交通活性化方策の総括について、【資料7】に基づき説明が行われた。

（質疑等）

なし

(2) 豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成28年度の取組について

・事務局より、豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成28年度の取組について、【資料8】に基づき説明が行われた。

（質疑等）

なし

（３）豊橋のりものフォトコンテストの募集について

・事務局より、豊橋のりものフォトコンテストの募集について、【資料９】に基づき説明が行われた。

（質疑等）

（委員）

・市外の人も応募できるのか。

（事務局）

・居住地については制限はないので、市外の方でも応募できる。

（委員）

・カーフリーデーでの展示は入賞した３点だけ展示するのか。

（事務局）

・基本的には全ての作品を展示したいと考えているが、応募数などによって展示する枠が無い場合は可能な範囲で展示する。

（４）東山バス運営協議会の取組について

・オブザーバーより東山バス運協議会の取組について、【資料１０】に基づき説明された。

（オブザーバー）

・平成２７年度については資料のとおりである。

・平成２８年度の取組について説明する。

・支援会員の募集を行い、５月現在で１２２口。

・やまびこ号運行８周年記念イベントとして、７月１日～７月２９日までの期間で８００枚限定でハンカチを配る。利用実績からすると全員に配れると想定している。

・１区間１００円運賃導入実験の実施として、昨年度から１区間の利用者の運賃を１００円とする導入実験を実施しているが、月に５、６人だった利用者が４０人に程度に増加したので引き続き実施する。今年度３月までの実績を見て本格的に導入するかを判断する。

・利用促進活動の実施として、利用者の少ないバス停周辺に住んでいる方にパンフレット等を持って行き利用促進に努める。

・情報ＢＯＸを設け、乗り換え案内チラシなどを週１回程度で補充をしている。

・やまびこ号通信の発行を年３回程度行い、各家庭に配布及びバス車内で配布する。

・車両への広告の掲載について、地元の企業等に広告主を募集し掲示する。

・地域団体及び支援会員等との連携強化について、それぞれの地域運営団体への利用状況等の報告をし、意見交換等の実施を検討する。また、支援会員への資料配布を行い、交流促進を図る。

（質疑等）

(委員)

- ・乗車が〇人の地区があると聞いたが、具体的にはどこの地区か。

(オブザーバー)

- ・豊橋医療センター南側の集落の人の利用を期待し、高山バス停を設置したが、そのバス停の利用が少ない。フリー乗降区間を設けることも考えたが、道幅が狭いことなど条件が悪いので断念した。

(委員)

- ・現在フリー乗降区間は存在しないのか。

(オブザーバー)

- ・2ヶ所でフリー乗降区間を設けている。

4. その他

なし

5. 閉会

- ・事務局長から閉会の挨拶があり、会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

⑩

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員

⑩